

センター施設必要性(新規整備)

様式5

都道府県	埼玉県	市町村	秩父市
地区名	秩父市中心市街地		
センター施設の名称	秩父宮記念市民会館		
事業費(百万円)	2,800.0	延べ床面積(m ²)	4,068.85
事業期間	H26~H28		
年度計画(百万円)	H26: 156.8 (建設)	H27: 613.2 (建設)	H28: 2,030 (建設)
事業の熟度	設計済み	建設	○ 購入
センター施設の概要	<p>・新市まちづくり計画において、地域間交流の推進、地域防災の充実を図るための重要な事業として位置づけられている。</p> <p>・総合振興計画の基本方針の一つに、『にぎわいと感動を呼ぶ「交流のまち」』とあるが、新施設は、芸術文化創造・発信の拠点となる施設であり、併せて、防災拠点となる市役所本庁舎との合築により、避難所としての活用もできる施設である。</p> <p>・施設構成概要としては、舞台間口16m、高さ9m、奥行13.5m、客席1,007席の交流ホールである。</p>		
維持管理費(人件費含む)	約4,000万円/年		
公共施設等総合管理計画の策定	H29.3		
支援対象	多目的ホール		
必要性等	<p>・市民会館は、市民の文化芸術の創造、交流、発信の拠点として、子供から高齢者まで、文化芸術を通じて「学び」、「憩い」、「集い」、「交流」の場であり、市民の文化的向上と福祉の増進を図るために、大きな役割を担う施設である。</p> <p>・施設整備により、芸術文化創造・発信の拠点となり、地域の人々が交流する場となることと併せ、防災拠点となる市役所本庁舎との合築により、避難所としても活用できる施設となる。</p> <p>・震災の影響で使用できなくなり、施設がなくなってしまった現在は、市民のさまざまな活動、交流の場が奪われている状況であり、市民各種団体からも施設の建設を早期に待ち望む要望書が数多く提出されている。旧市民会館は避難所としての役割も果たしていたことから、早急に整備をする必要がある。</p>		
利用見込み	<p>市内には様々な伝統芸能文化があり、それら文化の継承発展のために、活動している人々が多い。また、学校教育面では、幼稚園、小中学校、高校などの活動(お遊戯会、コーラス、演劇等)があり、そのような人々の活動発表の場として、また交流の場としての利用が見込まれる。</p>		
	年間 78,000人		